



《募集テーマ》

「日本で一番大きなまちの地域課題解決に 一緒に取り組みませんか？」



受け入れ先（ともに活動する）団体：

一般財団法人 ひだ財団



○ 受入団体より、協力隊員への応募を検討されている方へひとこと

「地域の『スキマ』を埋める」その取り組みに、あなたを招きます。

私達（一財）ひだ財団は高山市はもとより、飛騨圏域にわたって課題解決に取り組む団体を支援する組織です。

あなたの都市部で培った経験とスキルは、「地域の新しい風」となって財団事業の可能性を大きく広げてくれるものと期待しています。

地域のリサーチや広報企画、助成事業の企画運営など多角的に地域と関わる中で、新しい環境での成長を感じながら「やりがい」と「充実感」そして「地域への確かな貢献」を実感できる、そんな挑戦があなたを待っています。

【令和9年度 高山市地域おこし協力隊員募集】

○ 団体の紹介

私たち ひだ財団 では、地域に残る解決しにくい課題を「スキマ」と呼び、住民や行政・企業などが連携してこのスキマを埋める活動に取り組む人・団体を支援しています。資金助成に加え、事業設計や伴走も行っています。

また、令和8年度からは休眠預金を活用した助成事業を実施、本格的な資金拠出事業を始めています。



参加者みんなで語り合って考える「スキマ研究会」

○ 活動の内容（おもなもの）

- ・ 市民活動団体へのヒアリングなどによるリサーチ活動、市民との協働による地域課題の掘り出しや課題解決に向けた活動の実施
- ・ SNSなどによる団体活動の情報発信や市民活動団体とのネットワーク構築の実施
- ・ 市民活動団体などへの助成活動や伴走支援の実施
- ・ 休眠預金活用事業へのサポートなどの実施



《募集の概要》

募集テーマ	「日本で一番大きなまちの地域課題解決に一緒に取り組みませんか？」
募集人員	1 名
活動拠点【常駐場所】 （活動地域）	高山市岡本町【財団の拠点となる事務所内】 （高山市内全域で活動 ※飛騨圏域内での活動もあり）
活動内容	《任期中共通の活動》 <u>【スキマの発掘】</u> ・高山市でのリサーチ活動 ・市民活動団体へのヒアリング等 ・イベント開催・参加 ・「スキマ研究会」「ソシャカン」の企画・運営 ・地域内での財団の存在意義や、市民活動団体の認知度の向上 ・社会課題の解決方法を市民とともに模索 <u>【広報活動】</u> ・SNSおよびnoteでの情報発信 ・寄付者、賛同者とのコミュニケーション構築 ・SNSの他、メールマガジンの活用 ・市民活動団体が開催するイベントへの顔出しによるネットワークの構築 <u>【助成活動】</u> ・財団独自の各種助成事業の企画、運営 ・行政連携の助成事業の活用団体への伴走支援 <u>【休眠預金活用事業】</u> ・令和 9 年度には別の休眠預金活用事業の採択に向け活動予定 ・随時、実行団体向けの面談等を通じたや計画のブラッシュアップや評価業務の伴走支援業務実施 ・伴走業務や事業評価のための研修受講

【令和 9 年度 高山市地域おこし協力隊員募集】

	《取り組みロードマップ》 4～5 月 今年度の助成金申請者の審査業務 上期 市民活動団体向け研修 10 月頃 ソシャカン（ソーシャルカンファレンス） 2 月頃 協働のまちづくりフォーラム 2～3 月 次年度の助成金申請受付 ・スキマ研究会 全 6 回【通年実施】 ・イベントや事業の広報、開催報告の発信【随時実施】 ・助成事業採択先への伴走支援（事業の企画・運営支援） ・各種団体とのネットワーキング ・連携団体との連携事業 【休眠預金活用事業】 4 月 採択事業の前年度報告・年度計画の伴走支援 4・7・10 月 資金分配 10 月 中間報告支援・事業評価支援 1 月 事業完了報告支援 《取り組みの中での活動内容の割合》 ・デスクワーク（事務的な活動）： 5 割 ・フィールドワーク（支援先とのコミュニケーションや外（現場）での活動）： 5 割
活動期間	1 年ごとに更新（最長 3 年間）
活動時間	・活動時間 通常、1 週間あたり 40 時間以内（1 日あたり 8 時間）の就業時間の中で、およそ 2/3 以内を当財団と一緒に活動し、残りを協力隊員自身の地域定着のための活動に充てていただきます。 ・始業・就業の時刻、休憩時間及び休日 通常の場合に準じます。
募集対象 (こんな方を求めています)	【フィールドワークができる方】 より質の高い活動を進めていくためには、どんなスキマやそれを埋めるための活動があるのかを探求し、地域の様々なステークホルダーと積極的に出会い、議論していても

	らう必要があります。一方で、財団を地域にうまく「活用」してもらうためには、ビジネスとは関係のない井戸端会議も含めた地域住民や企業との丁寧なコミュニケーションは欠かせないと考えています。 上記の理由から、広い高山市を舞台とした「フィールドワーク」を不得手とせず、柔軟に動ける人材を求めています。 ※しゃべりがうまい！アドリブが強い！といった意味でのコミュニケーション能力を必要としているわけではありません。時間がかかっても適切な準備と丁寧なやり取りができれば問題ないと考えています。 【プロジェクトマネジメントの経験がある方】 業務の軸となるイベント企画や基金の運営、伴走活動においてはプロジェクトマネジメント能力が必須となります。 様々なステークホルダーと調整をしつつ、成果の最大化に向けて試行錯誤できる方を求めています。 なお、前述したようにフィールドワークやコミュニケーションは重要視していますが、業務においてはクラウドツールをフル活用して効率的に推し進めています。 【一味違う協力隊活動を求めている方】 地域おこし協力隊の受入団体が「コミュニティ財団」となるケースは非常に珍しいものと考えます。また、ファイナンスの見識を得られるなど、学びの質も通常とは変わってくると考えられます。以下のような思いをお持ちの方に合った受入団体です。 ・財団法人や NPO などの非営利団体の運営に関心がある ・地域住民、行政、財団と協力しながら、地域課題の解決に前向きに取り組みたい ・オンラインとオフラインの双方をバランス良く組み合わせた情報発信やコミュニケーションを行っていききたい
活動中での支援	・資金助成、スタートアップ、基金（ファンド）、会計、経理など「ファイナンス」に関連する仕組みの研修（座学および OJT）

【令和 9 年度 高山市地域おこし協力隊員募集】

	・補助金、間接補助事業、業務委託など行政と連携して行うことのできるメニューの仕組みの研修（座学およびOJT） ・財団に所属する先輩地域おこし協力隊員からのノウハウ移転 ・多様な助成事例を学ぶために他財団との交流機会の提供 ・地域住民・NPO などの活動団体や自治体職員、事業者と関わりを持つための架け橋（財団を通じて紹介） 《待遇など》 ・駐車場完備のオフィスの提供 ・オフィス備え付きの備品の貸与 ・住まいの紹介 《任期終了後に向けた支援》 ・市内各種助成制度の紹介 ・起業・就職のための財団ネットワークを活用した支援
問い合わせ先	◆高山市総合政策部地域政策課 電 話：0577-35-3183（担当：大門） e-mail：chiikiseisaku@city.takayama.lg.jp ◆（一財）ひだ財団 電 話：0577-57-5740 グラスルーツアカウンティングファーム内（担当：小峠） e-mail：info@hida-foundation.jp ホームページ URL：https://hida-foundation.jp/ 